



地域資源を活かした取り組みのご紹介

# 薬草料理で地域を活性化させよう!

みえメディカルバレープロジェクトでは、地域資源を活用した取り組みを長年支援してきました。今回は、数ある取り組みの中から、地域の薬草を利用した料理づくりに積極的に取り組む紀北調理師会と伊勢調理師協会の活動をご紹介します。いずれの地域も、古くから世界中の人々を呼び込む力がありましたが、それだけにとどまらず、地域をもう一度見つめ直し、産学官民が連携した結果、新たな商品の開発へと結びつきました。そしてその取り組みが、新たな地域活性化への一助となっています。ぜひ、この機会にもう一度、地域資源の活用について見つめ直してみませんか。



## 紀北調理師会の取り組み

### 薬草弁当開発のきっかけ

「熊野古道薬草弁当」の開発は、三重県から「薬草を使った健康的な料理を」という提案がきっかけで平成15年から始まりました。まずは、セミナーや薬草観察会等で調理師会のメンバーが薬草について知見を深めるようにしました。

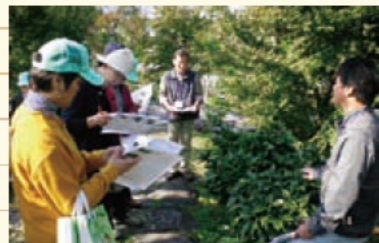
## 薬草弁当の開発



紀北調理師会の塚原会長(左)と始神茶屋 榎の店主の榎井さん

メンバーそれぞれが薬草を使った創作料理を持ち寄り、それらの料理を組み合わせ「熊野古道薬草弁当」を開発しました。ひとつの弁当で

たくさんの薬草を使った料理を楽しめるように工夫しましたが、何回も試作品を作り、完成するまで2~3年かかってしまいました。ショウガとミョウガを使った姜荷めし、クズを入れた沖ガスの揚げ団子や天台烏薬のお茶で煮込んだ除福サイロ等薬草を通じて東紀州



薬草観察会



薬草弁当第1弾の「熊野古道薬草弁当」



薬草弁当第2弾の「石畳弁当」

の味を十分に楽しんでいただけます。また、料理だけでなく、箱やおしながきにも工夫を凝らしています。

## その後の展開

薬草弁当第2弾としては、沖ガスの蒲焼、ガスエビの塩焼きやアオサのわさび和え等の「石畳弁当」を開発しこちらも大変好評です。また、第3弾も開発中です。

この弁当は完全予約制で、熊野古道のコース登り口や道の駅等のお客様が指定する場所にお届けします。お客様の評判も高く、熊野大花火大会の際は1日で600人分もの弁当を作っています。

薬草弁当シリーズは、メンバー全員が楽しみながら東紀州をアピールしようという地域にかける思いを込めて作っています。

■予約お問い合わせ  
弁当専用電話 090-2683-2673

## 伊勢調理師協会の取り組み

### 地元薬草活用のきっかけ

伊勢地域は山や海の食材に恵まれており、当調理師協会では、以前より食の魅力をどうやって伝えるか考

えていました。そこで、平成21年に「薬草料理研究委員会」を立ち上げ、「健康」をキーワードに薬草の入った料理の開発をすることにしました。メンバーには、薬草とは何かを知り関心を持ってもらうことが大事だと考え、薬用植物自然観察会等を実施し見聞を広げていきました。



伊勢調理師協会の奥田会長(右)と事務局の中村さん

## 薬草料理の研究と薬草弁当の開発

メンバーに多くの薬草料理の試作を持ち寄ってもらい、試食会や発表会を開催しました。皆で試作後の感想を聞きあうことでさらに関心が高まったと思います。また、試験的に薬草弁当を作って販売したところ、タンポポの葉やヨモギ等市販されていない食材を苦労して集めて作りましたが、販売開始後すぐに完売となり大変嬉しかったです。



薬草料理研究発表会

## アピールポイント

メンバーの店では、薬草の入った料理を出すようになり、薬草入りの和食・中華・イタリアン等、さまざまなバリエーションを楽しめるようになってきました。さらに、お客様にも薬草料理の良さを知っていただくために、料理人自身が直接レシピを説明するようにしています。この取り組みを始めてから、メンバー同士の親密度が増し、研究委員会でお互いに情報交換ができるような関係になってきました。今後も、お客様をもてなす気持ちを皆で持ち続けていきたいと思ひます。

■お問い合わせ  
伊勢調理師協会 電話0596-27-5151 (伊勢保健所内)



薬草弁当

## 取材後の感想

今回の取材で、両地域の皆さんが前向きに地域資源の活用に取り組んでいる様子を伺うことができ、大変感銘を受けました。これらの取り組みを通じて調理師会の会員同士のつながりが深まっているというのも嬉しいことです。そして、開発した薬草料理は、料理教室等で地元の方々に親しまれたり、他の飲食店でも利用できるように門戸を広げていることも地域への想いが伝わります。今回は、「食」の魅力をいかにアピールするかというところで「薬草」が使われましたが、三重県には他にも、各地に様々な特色ある地域資源があります。みえメディカルバレープロジェクトでは、天然資源を活用した地域産業の創出支援として、「三重県天然資源活用調査報告書」の作成、メディカルバレー推進サポーターの活用、メディカル研究会の取り組みや三重県薬剤師会の協力を通じた支援等も続けています。こういった取り組みが今後も継続され、各地へ広がっていくことが期待されます。